2025年11月５日

各　　位

会 社 名　株 式 会 社 ぐ る な び
代表者名　代表取締役社長　杉 原　章 郎
（コード番号：2440　東証プライム）
問合せ先　専務執行役員　山 田　晃 久
（TEL：03-6744-6463）

スタンダード市場への市場区分の変更承認及び プライム市場上場維持基準の適合に向けた計画の撤回に関するお知らせ

当社は2025年５月23日付「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況及び計画期間の変更について」において、スタンダード市場への市場区分変更に必要な対応について適宜検討・実行する旨を公表しておりましたが、本日、東京証券取引所よりスタンダード市場への市場区分変更について承認を受けました。これにより、当社は2025年11月12日をもってスタンダード市場上場会社となりますので、お知らせいたします。

また当社は、2023年６月21日にプライム市場における「上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出し、その後、2024年６月27日及び2025年５月23日には同計画に基づく進捗状況について開示しておりますが、本市場区分変更の承認に伴い、本日付で同計画を撤回いたします。

当社はこれまで、上述の計画書に基づきプライム市場の上場維持基準への適合を目指し、「① 中期事業方針（2024年３月期から2026年３月期まで）に基づくビジネスモデルの進化を通じた業績回復・再成長の実現」「② ①に関する株式市場との積極的な対話の実施」「③ 非財務情報の発信強化」、これら３つの重点施策に取り組んでまいりました。この結果の一つとして、前期（2025年３月期）において５期ぶりとなる黒字転換を果たしたほか、今期（2026年3月期）においても人員増強をはじめとする成長投資を行いつつも前期比増益を計画しており、本日公表した2026年3月期中間期決算につきましては計画に対し順調に進捗しております。このように当社はコロナ禍以降の徹底したコスト抑制による赤字縮小フェーズから、売上拡大による利益拡大フェーズへと移行する大きな転換点を迎えておりますが、現時点においてもプライム市場の上場維持基準のうち流通株式時価総額について基準に適合しておらず、2026年３月末までの改善期間中における基準適合が困難であると判断いたしました。このため、当社はスタンダード市場への市場区分変更に必要な対応を進め、この度、市場区分変更について承認を受けるに至りましたが、スタンダード市場に移行した後も、上述の３つの取り組みを継続することはもとより、コーポレートガバナンスの充実、資本コストや株価を意識した経営等にも注力し、中長期的な企業価値の向上に取り組んでいく方針に変更はなく、これらの取り組みを通じて再びプライム市場に挑戦することを目指してまいります。

当社は「食でつなぐ。人を満たす。」とのパーパス（存在意義）のもと、今後も豊かな食の未来の実現に向けた積極的な事業展開を継続してまいります。株主の皆様におかれましては、何卒ご理解いただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以　上